

新入会員紹介



自己紹介

ひさつね 歯科

久 垣 泰 宏

平成17年4月より岩見沢歯科医師会に入会させていただきました久垣泰宏です。

前年の10月1日には既に開業しておりましたが、諸事情により美唄歯科医師会員のまま半年も過ぎてしまいました。この度の入会にあたりましては三嶋会長はじめ理事の先生方や各会員の先生方に御迷惑とは思いつつもいろいろと御相談申し上げ、特別な御配慮をいただきそして皆様にとってもあたたかく迎えていただきましたことに感謝感激であります。本当にありがとうございます。これからも宜しくお願いいたします。

私は美深生まれで留萌、当別、大麻育ちそして北大歯学部16期生で昭和63年卒です。

大学卒業時ははじめは中標津町立歯科診療所への勤務を希望しておりましたが、何か勉強してから来なさいということで北大歯学部第二補綴に入学しました。そして補綴と顎関節症の臨床や研究をしているうちに勤務の話は立ち消えとなり結局5年半いました。

在局中にアルバイト先の院長先生から妻を紹介されて結婚し、妻の父より美唄歯科医師会会長の宝崎錠二先生に紹介され、美唄労災病院の歯科に欠員ができるから来てみないかと誘われて平成5年9月から勤務することになりました。

ここでは有病者と障がい者が多いことが特徴で、車椅子やストレッチャーでの歯科治療をずいぶんやりました。数年たつうちにだんだんとこの仕事に生きがいを感じておりましたが、労災病院の再編問題のため将来の身の振り方を真剣に考えなくてはなくなりました。そして平成11年に美唄に骨をうずめる覚悟を決めて家を購入し、その後美唄歯科医師会に入会しました。

平成15年8月末、いよいよ病院長から歯科を含む5科を18年3月をもって閉鎖する旨を伝えられました。そしてすぐに神経内科の伊藤和則医師か

ら岩見沢でメディカルビルを作ろうと誘われました。当初は美唄に家も建てたし宝崎会長の引退後の場所で開業しようと考えていたこともあってお断りしていましたが、迷いに迷った末、伊藤医師の熱心な勧誘と宝崎会長のチャンスかもしれないよとの言葉に背中を押されるように頭金もないのに開業することを決断してしまい、16年2月から大慌てで準備を始めました。

昔から体が丈夫なのが自慢で風邪をひくことも10年に1回くらいで、自分では大概のことではへこたれない自信があったのですが、開業前のプレッシャーや準備の忙しさよりも開業後のストレスや治療以外の慣れない仕事の連続に少々参ってしまい、はじめの数ヶ月で3回も熱を出して寝込んでしまいました。自分がストレスにこんなに弱いとは思っていませんでした。そしてまた先生方皆様がこのような思いをしながら開業なさっているのだと改めてその大変さをつくづくと感じておりました。

でも今春入会してからは全ての皆様に笑顔で接していただき、好きな野球ができて、大好きなお酒に誘っていただいて、多くのストレスを解消できたのか最近はかなりこの生活に慣れてきたように思います。いつも優しくしていただいて本当にありがとうございます。

以上この紙面をお借りして自己紹介させていただきました。こんな私ですがこの地域のため、会のために微力を捧げられたらと思います。今後とも御指導、御鞭撻の程宜しくお願いいたします。

